令和6年度 高等部部1年(Ⅱ課程A) 情報科 年間指導計画

単位数 児童生徒		担当者	教科書/副教材
35	高等部1年ⅡA課程		

30		Э	尚寺部II	∓ ∐ A 課程			
	目標: (知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等評価: (知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度 (知及技)						
(知及技) 情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。(高1段階) (思判表力) 身近な事象を情報とその結びつきとして捉え、問題を知り、問題を解決するために必要な力を養う。(高1 (学・人) 情報社会に主体的に参画するための資質・能力を養う。(高1段階)				ために必要な力を養う。(高 1 段階)			
	学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容	
	1 学期	13	(知及技)キーボードを使用 し文字や数字のタッチナける につかできる。(高1段階を にとができる。(高1段階を は、でできる。(思判表力)自分で できる。(高1段階) でできる。(高1段階) できる。(高1段階) できる。(高1段階) できる。(高1段階) でき主体的に利用時) ができる。(高1段階)	し文字や数字のタッチタイピングの技能を身につけようとしている。 (思・判・表)自分で画像を選び、その画像を貼り付けることで印刷することで表現しようとしている。 (主学)情報通信ネットワークにより提供される情	に取り組もう。 ・画像を印刷しよ う。 ・情報を検索し、利	・数字や文字のタッチタイピング。 ・画像を選択し、その画像を貼り付け、印刷。 ・情報を検索し利用。	
	2 学期	13	フトウェアの基本操作を習得することができる。(高1段階) (思判表) 自己紹介や自分の考えを、「ロープロトを使用し、表現することができる。(高1段階) (学・人) SNSの危険性や個人	しようとしている。 (思・判・表)自己紹介や自 分の考えを、ワープロソフトを使用し、表現しようと している。 (主学) SNSの危険性や個人 情報の管理の重要性につい て主体的に学ぼうとしてい	・表計算ソフトに取 り組もう。 ・ワープロソフトを 使用し、自己紹介し よういの危険性と個人 情報について学ぼ う。	・表計算ソフトの基本的操作。 ・ワープロソフトを使用した、自己紹介。 ・SNSの危険性と個人情報の管理について学ぶ。	
	3 学期	9	て、法規や制度を身につけることができる。(高1段階) (思判表力)ペイントソフトを使用し、情報デザインの	(知・技)情報モラルについて、法規や制度を身につけようとしても、	ての法や制度を学ぼう。 ・情報デザインを実 践しよう。 ・Excel関数について	・情報モラルについて、法や制度を学 ぶ。 ・3Dペイントを使用し、情報デザイン の基本的な考え方や方法を知り、表現 する。 ・Excel関数 (sum, max, min, average, rank)につい て学ぶ。	

留意点引継ぎ			

令和6年度 高等部部2年(Ⅱ課程A) 情報科 年間指導計画

単一个配	単位数 児童生徒		担当者	教科書/副教材
	35	高等部2年ⅡA課程		

	•	17 4 11.1	1 =				
目標:評価:	目標: (知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等平価: (知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度						
年間目標		(思判表力) 身近な事象を情報とその紀 (学・人)	効果的に活用する力を養う。 もびつきとして捉え、問題を るための資質・能力を養う。	知り、問題を解決する	ために必要な力を養う。(高1段階)		
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容		
1 学期	13	いて知ることができる。 (高1段階) (思判表力)ペイントソフト を使用し、情報デザインの	(知・技)SNSの危険性や個人情報の管理の重要性について知ろうとしているといるといるという。 (思・判・表)ペインドチャンの基本的な考え方やとしの基本の表表のででである。 (主学) データの収集のできている。 (主学) データの収集のできている。 (主) データの収集ができる。 [評価資料] 活動の様子で評価する。	う。 ・情報デザインを実 践しよう。 ・Excel関数について 学ぼう。	・SNSの危険性と個人情報の管理について学ぶ。 ・3Dペイントを使用し、情報デザインの基本的な考え方や方法を知り、表現する。 ・Excel関数 (sum, max, min, average, rank)について学ぶ。		
2 学期	13	の基礎を習得し、問題解決ができる。(高1段階) (思判表)情報技術を活用して複数の解決策から選択し、結果を判断する力をでい、問題解決階とができる。(高1段階)(学・人)情報モラルについて、法規や制度を主体的に	(知・技)プログラミングの 基礎を習得しい問題。 (思・判・表)情報技術を活用して複数の解決策からとして、 (思・判・表)情報技術を活用して複数の解決策から力と (思・判・表)情報を判断する力と (記・判・表)情報を判断する力と でいる。 (主学)情報モラルについて、法規や制度を主体的に 身にのは 身にのは 事がで評価する。	基礎に取り組もう。 ・問題(修学旅行の 計画等)を解決に取 り組もう。	・プログラミングの基礎(「進む」 「戻る」「曲がる」「繰り返し」の動 作)及び、幾何学模様の作成。 ・問題(修学旅行の計画等)を解決す るための解決策を選択、結果を判断す る活動。 ・情報モラルについて、法や制度を学 ぶ。		
3 学期	9	キュリティの仕組みと必要性を知ることができる。 (高1段階) (思判表力)身近なメディアとコミュニケーション手段 の関係高考えることができる。(高1段階) (学・人)身近にある情報技術が人や社会に果たす役割と及ぼす影響について主体	(主学) 身近にある情報技 術が人や社会に果たす役割 と及ぼす影響について主体	キュリティの仕組み と必要性を学ぼう。 ・身近なメディション ・身近二ケーション 手う。 ・身近にある情報技 術が人や社会にどの	・ネットワークの仕組み、セキュリティの仕組み。 ・身近なメディアとコミュニケーション手段の関係を考える。 ・身近にある情報技術が人や社会にどのように影響を及ぼすか調べる。		

留意点引継ぎ			

令和6年度 高等部部3年(Ⅱ課程A) 情報科 年間指導計画

/	単位数 児童生徒		担当者	教科書/副教材
	35	高等部3年ⅡA課程		

3	35	高等部3年IIA課程					
	票:(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 面:(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度						
(知及技) 情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。(高 1 段階) (思判表力) 年間目標 身近な事象を情報とその結びつきとして捉え、問題を知り、問題を解決するために必要な力を養う。(高 1 段 (学・人) 情報社会に主体的に参画するための資質・能力を養う。(高 1 段階)					ために必要な力を養う。(高 1 段階)		
学期	時数	単元・題材の目標	 単元・題材の評価規準 	単元・題材名	単元・題材の活動内容		
1 学期	13	(知及技)SNSの危険性や個人情報の管理の重要性について知ることができる。(高1段階)(思判表力)ペイントソフトを使用し、情報デザ方法をもり、高1段とができる。(高1時間を表現する。(高1時間を表現するの、第1分に実力できる。(高1段階)	(知・技)SNSの危険性や個人情報の管理の重要性について知ろうといる。(思・判・表)ペイントザイントを使用し、情報がやカリンの基本的な考え方としいる。(主学)データの収集、整理及び結果な的に実行できる。[評価資料]活動の様子で評価する。	う。 ・情報デザインを実 践しよう。 ・Excel関数について	・SNSの危険性と個人情報の管理について学ぶ。 ・3Dペイントを使用し、情報デザインの基本的な考え方や方法を知り、表現する。 ・Excel関数 (sum, max, min, average, rank)について学ぶ。		
2 学期	13	の基礎を習得し、問題解決ができる。(高1段階) (思判表)情報技術を活用 して複数の解決策から選択	用して複数の解決策から選択し、結果を判断する力を	基礎に取り組もう。 ・問題(修学旅行の 計画等)を解決に取	・プログラミングの基礎(「進む」 「戻る」「曲がる」「繰り返し」の動作)及び、幾何学模様の作成。 ・問題(修学旅行の計画等)を解決するための解決策を選択、結果を判断する活動。 ・情報モラルについて、法や制度を学ぶ。		

3 学期	9	キュリティの仕組みと必要性を知ることができる。 (高1段階) (思判表力)身近なメディアとコミュニケーション手段 の関係を考えることができる。(高1段階) (学・人)身近にある情報技術が人や社会に果たす役割	(知・技)ネットワークと キュリティの仕でない。 キュリティのとしている。 ・カースと ・カーと ・カースと ・カースと ・カースと ・カースと ・カースと ・カースと ・カースと ・カースと ・カースと ・カースと ・カーと ・カーと ・カーと ・カーと ・カーと ・カーと ・カーと ・カー	キュリティの仕組み。とります。というは、というではないでは、というでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	・ネットワークの仕組み、セキュリティの仕組み。 ・身近なメディアとコミュニケーション手段の関係を考える。 ・身近にある情報技術が人や社会にどのように影響を及ぼすか調べる。
留意点 引継ぎ 等					